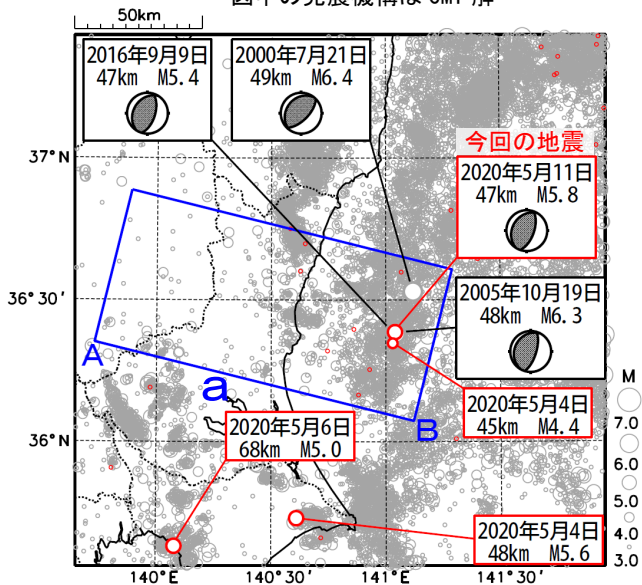


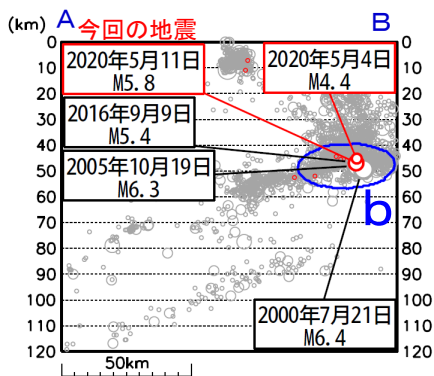
## 5月11日 茨城県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2020年5月31日、  
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$ )  
2020年5月の地震を赤く表示  
図中の発震機構はCMT解

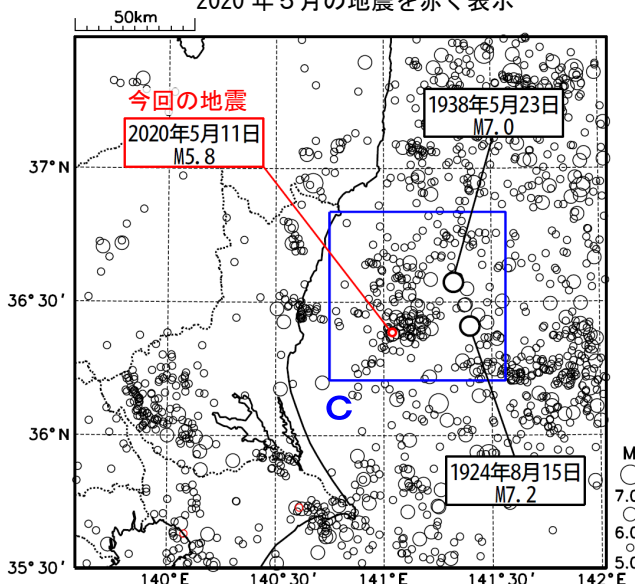


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1919年1月1日～2020年5月31日、  
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$ )  
2020年5月の地震を赤く表示



2020年5月11日08時58分に茨城県沖の深さ47kmでM5.8の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。なお、この地震の1週間前の5月4日22時34分にも茨城県沖の深さ45kmでM4.4の地震（最大震度3）が発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、2005年10月19日に今回の地震とほぼ同じ場所でM6.3の地震（最大震度5弱）が発生するなど、2005年まではM5.5以上の地震が時々発生していた。2006年以降は、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の発生以降の地震活動が一時的に活発になった時期を含めて、今回の地震が発生するまでM5.5以上の地震は発生していなかった。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M7.0以上の地震が2回発生している。このうち1938年5月23日に発生したM7.0の地震では、福島県小名浜で83cm（全振幅）の津波が観測された（「日本被害地震総覧」による）。

領域b内のM-T図及び回数積算図

